



宇太水分神社の（右奥から）第一本殿、第二本殿、第三本殿―宇陀市菟田野古市場で

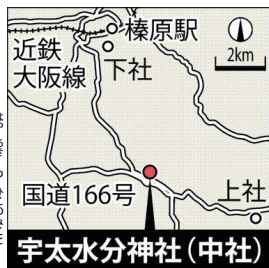


（住所）宇陀市菟田野古市場245
 （祭神）宇太水分神、速秋津彦命、
 国水分神
 （交通）近鉄榛原駅からバス、古市

場水分神社下車徒歩約5分
 （拝観）自由（瑞垣内は500円）
 （駐車場）有り（無料）
 （電話）0745・84・2613

宇太水分神社（宇陀市）

宇陀市に水分神社は上社（同市菟田野上芳野）、中社（菟田野古市場）、下社（同市榛原下井足）があります。しかし、宇太水分神社と言えば、多くの場合、芳野川沿いに鎮座する中社を差し、崇神天皇の治世に水分大神が高見山より降臨した伝承があります。



祭神は速秋津彦命など3柱。飛鳥時代から大

和の四方を守る「大和四水分」の一つとされます（他は吉野、都祁、葛木の各水分神社）。

本殿（国宝）は1320（元応2）年の建立。正面の柱間が一つで、ひさしの両隅を斜めの隅木で支える「一間社隅木入

春日造」です。同じ大ささの本殿が3棟並び、境内には、推古天皇が薬狩りの時に身を清めたという「薬の井」や源頼朝が植樹させたと伝わる「頼朝杉」（現在の杉は二代目）があります。

本殿や摂社には彩色跡が残り、柱や、かえる股（横木に設置し、荷重を分散させる部材）に降臨伝承由来の白鷺や宝珠の

10月の第3日曜には、上社の女神・速秋津彦命と中社の男神・速秋津彦命が年に一度だけ会うためのみこし渡御「みくまり祭」が催されます。

（奈良まほろばソムリエの会員 福岡康浩）

本殿3棟「みくまり造」